令和７年度　青野小学校学校だより
No. 8

青葡萄学園（あおぶどうがくえん）

R7. 12. 12 発行　　文責　佐藤

学校教育目標
『自ら学び、心身共にたくましく生きる子どもを育てる』
目指す子ども像
あ『明るい子』
お『思いやる子』
の『伸びゆく子』

青野幼稚園・小学校学習発表会

１１月１５日（土）に、学校運営協議会委員等の学校関係者の方々と保護者の皆様にご観覧いただき、青野幼稚園・小学校の学習発表会を行いました。あおっぴぃ通信での周知により、今年は子どもがいる・いないに関わらず青野地域全体の皆様にご自由にご覧いただけるようにしました。会場全体の大勢の皆様から心温まる拍手や力強い大声援を受けて子どもたちは大変嬉しそうでした。幼稚園児は、自分たちで作った小道具やセットを使い配役になりきって一生懸命な音楽劇を演じました。小学生は国語科や音楽科・総合的な学習の時間等の日頃の学習で学んだことを、関わってくださった方々に感謝の気持ちを込めて伝えようと、学年ごとに工夫を凝らしながら堂々と発表しました。

このように子どもたちが自信をもって演技・発表できたのは、終始温かい雰囲気であった会場の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

社会科見学「くらしの安心・安全を守る仕事」（3・4年生）

１１月４日（火）に、３・４年生は野上小学校の友だちと一緒に井原消防署と井原警察署の社会科見学に行きました。井原消防署では、有事に備えて正確で迅速な行動がとれるよう繰り返し訓練に励んでいる姿や消防車や救急車に備えられている様々な場面を想定した数多くの道具を間近に見ることができました。見学中でも、２度も救急車の緊急出動がありました。井原市内だけでなく周囲の支部と協力し合って一人でも多くの人命救助や早期消火活動に取り組んでいることが分かりました。井原警察署では、正義感溢れ志高く夢に向かって努力してきた白バイ隊員の方のお話を聞いたり警察車両の装備を見せていただいたりしました。また、危険な場面で命を守り犯人を確保するための装備の説明も受けました。

見学を通して、井原市民の日々のくらしの安心・安全を守るために日夜働いている仕事の実態や苦労について、より深く学ぶことができました。

あいさつ BINGO②とランキング（シルバー・ゴールド・ダイヤモンド）

１１月１０日(月)～21 日(金)に、小学校では「あいさつ BINGO②」に取り組みました。児童朝礼で５・６年生が BINGO のやり方説明をし、「あいさつの後に一言　言う」場合や「いろいろな国の言葉であいさつ」の場合は「このようにします。」とお手本を示しました。BINGO が４つそろったらシルバー、BINGO が８つそろったらゴールド、全てが BINGO になったらダイヤモンドとランク付けを決めて取り組みました。今回の BINGO は、地域の大人の意見を取り入れて一部改訂しました。楽しみながら、自発的に、そして子ども目線ではなく地域の大人を意識したあいさつに変わりつつあります。

あいさつタスキ完成しました　～CS 委員からの表彰～

先月、あいさつ標語コンテスト及び井原デニム生地でのタスキ縫い作業を終えで、業者に文字印刷の発注をしていたものが、ついに完成しました。１２月１２日に行われた第３回学校運営協議会に集まった委員の方から、６年西山哲正さんをはじめ最終候補の３名が表彰されました。完成したタスキは、子どもたちだけでなく、あいさつ運動参加のためにご来校される地域・保護者にも着用していただきたく思います。地域を巻き込んでのあいさつ運動の更なる盛り上がりを、子どもたちも期待しています。

教育長も参加してのあいさつ運動

１１月１０日(月)の「青野小あいさつの日」の朝、井原市教育委員会の森川教育長にあいさつ運動に来ていただきました。当日は学校運営協議会委員やひとづくりネットワーク運営協議会委員の皆様も多数駆けつけてくださり、ありがとうございました。地域の皆様と一緒にあいさつを交わすことができて子どもたちも大喜びでした。靴箱前では、低学年が自作の旗をもって後から登校する友達を元気の良いあいさつで出迎えました。森川教育長からは、立ち止まって目を見てのあいさつを心がける子どもたちをほめていただきました。この後の児童朝礼にも参加され、「あいさつプラス一言」の実践についてお話がありました。